

5

付属ディスクの使い方

～ 過去問題の宝箱！ ～

平成 6 年度秋期から平成 15 年度秋期までの 19 期分の午前試験 1520 問すべてを徹底的に解説する（付属ディスク）の使い方を紹介します。

問題と解説は、出題期順だけでなく分野別でも閲覧できますし、本文の第 2 章～第 4 章と連動した形での閲覧もできます。

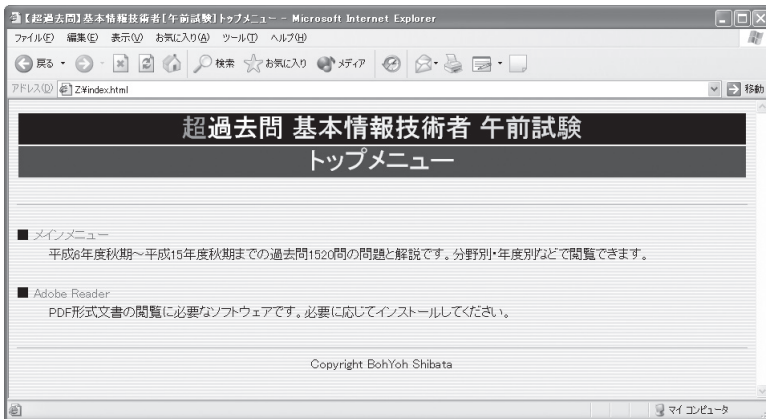
付属ディスクを“学習の友”にしてください。

付属ディスクは過去問題の宝箱！

みなさんの学習の友となる《付属ディスク》は、過去問題のすべてを解説する宝箱です。本章では、付属ディスクの使い方を解説します。

■ トップメニュー

付属ディスクを CD ドライブにセットしてください。そうすると、自動的に Internet Explorer が起動し、以下に示す《トップメニュー》が現れます。



本ディスクの解説文書は、すべて PDF という形式で提供されます。この形式の文書を閲覧するには、お使いのシステムに Adobe Reader がインストールされている必要があります。

もし、インストールされていないのであれば〔Adobe Reader〕をクリックしましょう。下の画面が現れますので、右側のアイコンをダブルクリックして、インストールを行ってください（表示される質問に答えていけば作業は完了します）。



システムに Adobe Reader がインストール済みであれば、この作業は不要です。

本ディスクに収録しているのは Windows XP/2000/NT/Me/98SE 用です。これ以外のプラットフォーム用のは、Adobe 社のホームページ <http://www.adobe.co.jp/> からダウンロードしてください。

システムに Adobe Reader をインストールしたら、早速〔メインメニュー〕に進んで、過去問制覇のための学習を始めましょう。

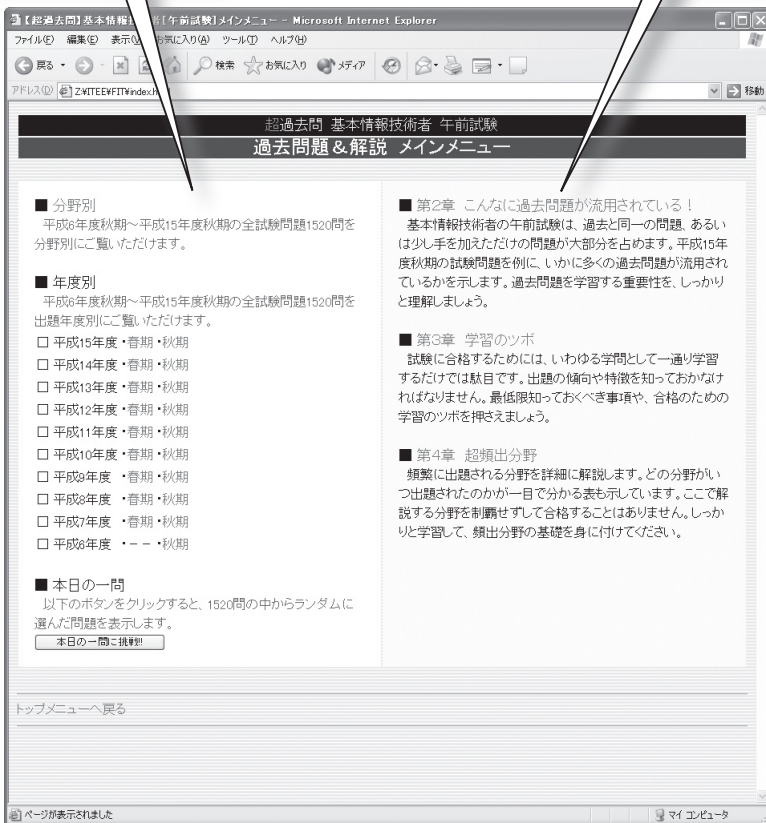
■ メインメニュー

過去問学習の《メインメニュー》です。本付属ディスクでは、現在の出題スタイルが確立した平成6年度秋期から平成15年度秋期までの19期分の午前試験1520問すべてを徹底的に解説し、多角的な学習をサポートします。

画面の右半分は、本文第2章～第4章と連動して学習するためのメニューです。これらについては、各章の冒頭で解説しましたね。

主として普段の学習で利用します。

各章と連動しています。



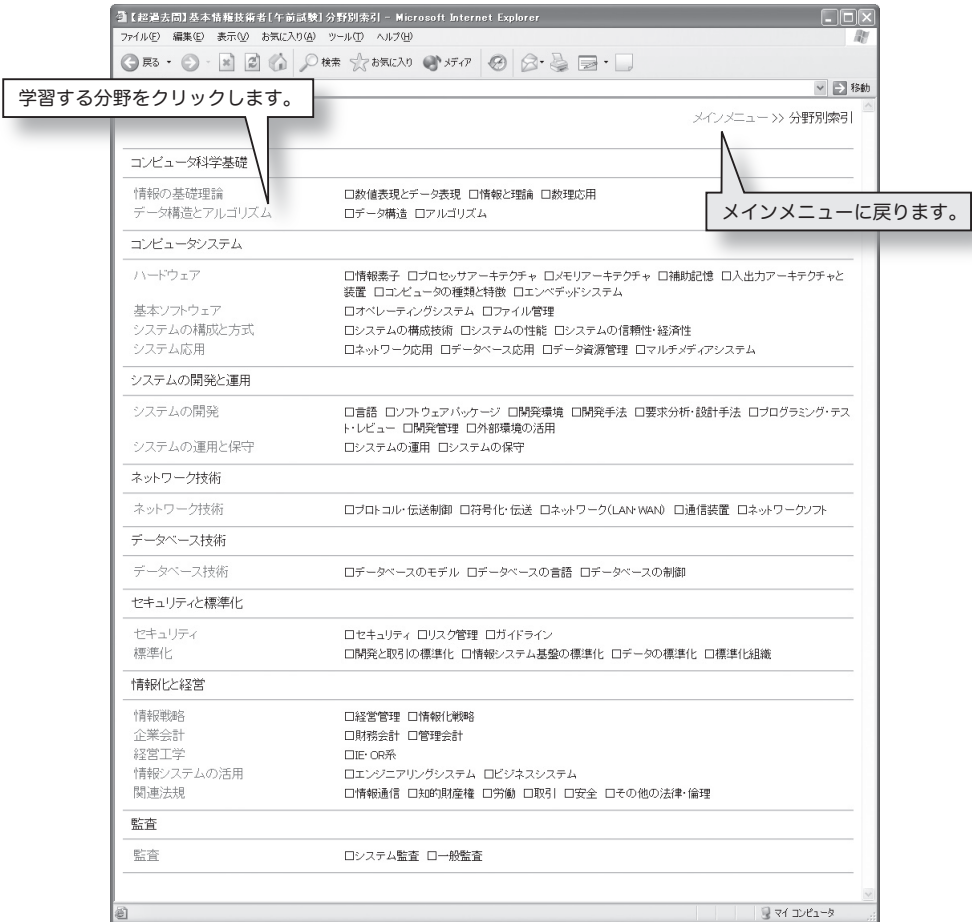
画面の左半分には、普段の学習で主として利用することになる、三つのメニューが表示されています。

- ・分野別 … 分野別に学習します。
- ・年度別 … 出題年度（期）別に学習します。
- ・本日の一問 … 無作為に選ばれた問題を学習します。

以下のページでは、これらを解説します。

■ 分野別索引

みなさんの学習の中心となるのが、この《分野別索引》です。過去問題 1520 問を、第 1 章で示した〔午前の出題範囲〕および〔IT 共通知識体系〕に準じて分類したものであり、下図に示す構成となっています。



表示されている〔情報の基礎理論〕、〔データ構造とアルゴリズム〕、〔ハードウェア〕、〔基本ソフトウェア〕、… から、学習したい分野を選択しましょう。

*

ここでは、〔データ構造とアルゴリズム〕を選択してみます。右ページに示すように、分野がより細分化されて、項目名と問題番号の一覧表が表示されます。

▷問題番号をクリックすると、その問題と解答・解説が表示されます。たとえば〔15 春 13〕をクリックすると、平成 15 年度春期・午前問 13 が表示されます。

まずは、ざっと項目名を眺めましょう。そうすると、〔データ構造とアルゴリズム〕の分野から、どのような項目が過去に出題されたのかが完全に分かります。

試験までに時間の余裕がなければ、出題の多い項目の学習を優先しましょう。まずは、問題番号が数多く表示されている項目を見つけてみます。

たとえば〔スタック〕です。頻出項目であることが一目瞭然ですね。問題と解説をしつかり読んで、学習を進めてください。問題数が多いとはいっても、同一問題や類似問題もありますから、意外と短時間で学習できるでしょう。

メインメニューに戻ります。

問題番号をクリックします。

分野別索引に戻ります。

索引に戻ります。

基本情報技術者試験 2003年度 = 平成15年度・春期 午前 問13

待ち行列に対する操作を次のとおり定義する。
 ENQ n : 待ち行列にデータ n を挿入する。
 DEQ : 待ち行列からデータを取り出す。

空の待ち行列に対し、ENQ 1, ENQ 2, ENQ 3, DEQ, ENQ 4, ENQ 5, DEQ, ENQ 6, DEQ, DEQの操作を行った。次のDEQの操作で取り出される値はどれか。

ア 1 イ 2 ウ 5 エ 6

解答

ウ

解説

キュー (queue) は、データを先入れ先出し (FIFO = First-In First-Out) で蓄えます。ちょうど、銀行の待ち行列のように、より早く到着して待っているお客さんから、優先的に手続きが行われるのと同様です。

本問では、キューに対して下図のように操作が行われます。

先頭 末尾

1 2 3 4 5 6

もしも、みなさんが『スタック程度のことは分かっている！』のでしたら、知らない項目や、ちょっと自信のない項目を学習するといいでしょう。

たとえば、やや難しい内容である〔B木〕は、これまで出題は1回だけです。頻出項目の学習を終えたら、このような問題に挑戦するとよいでしょう。

■ 年度別索引

《年度別索引》では、平成6年度秋期～平成15年度秋期の全1520問から、年度（期）と問題番号を指定することによって、問題と解答・解説を閲覧できます。各期の出題傾向をつかむ学習に最適です。

年度（期）を選択すると、最初の問題である〔問1〕が表示されます。問題文と解答・解説は、画面の下部側に表示されます。

なお、画面の上部は、問題閲覧のためのナビゲータです。〔次の問題〕、〔前の問題〕、〔次の期〕や〔前の期〕への移動は、それぞれ各ボタンのクリックで行えます。

なお、問題番号を直接クリックしても、問題を読み出せるようになっています。

前の問題へ移動します。

次の問題へ移動します。

前の期へ移動します。

次の期へ移動します。

問題番号をクリックすると、その問題が表示されます。

メインメニューに戻ります。

BohYoh.com<情報処理技術者試験対策講座> 情報処理技術者試験 平成15年度秋期 過去問題&解説 - Microsoft Inter...
 ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール ヘルプ(H)
 戻る 進む 検索 検索 検索 お気に入り 共有 印刷 移動
 アドレス(AD) Z:\HITEEH\FTTR\2003B\index.html
 基本情報技術者試験 平成15年度秋期 問1
 超過去問 問1 問2 問3 問4 問5 問6 問7 問8 問9 問10 問11 問12 問13 問14 問15 問16 問17 問18 問19 問20
 問21 問22 問23 問24 問25 問26 問27 問28 問29 問30 問31 問32 問33 問34 問35 問36 問37 問38 問39 問40
 問41 問42 問43 問44 問45 問46 問47 問48 問49 問50 問51 問52 問53 問54 問55 問56 問57 問58 問59 問60
 問61 問62 問63 問64 問65 問66 問67 問68 問69 問70 問71 問72 問73 問74 問75 問76 問77 問78 問79 問80
 基本情報技術者試験 2003年度 平成15年度秋期 前期 前期 問1
 2進の浮動小数点表示で誤差を含まずに表現できる10進数はどれか。
 ア 0.2 イ 0.3 ウ 0.4 エ 0.5
 解答
 エ
 解説
 2進数の各桁は、2のべき乗の重みをもちます。したがって、2進数の0.1, 0.01, 0.001, 0.0001, ...
 を10進数で表すと次のようになります。

2進数	0.1	0.01	0.001	0.0001	0.00001
10進数	0.5	0.25	0.125	0.0625	0.03125

このことから、10進数の0.5, 0.25, ... そのもの、あるいはそれらの和で表せないものは、2進数で有限桁で表せないことが分かります。
 10進数の0.5は、2進数の0.1ですから、計算するまでもなく、正解はエの0.5です。

■ 本日の一問

《本日の一問》は、平成6年度秋期から平成15年度秋期までの1520問から、問題を一つだけ選んで表示します。〔本日の一問に挑戦!!〕ボタンをクリックしてください。

無作為に選ばれた問題が表示されますので、みなさんの知識の確認や、力試しなどに活用できるでしょう。

The image shows two overlapping browser windows. The top window displays a menu titled '超過去問 基本情報技術者 午前試験 過去問題&解説 メインメニュー'. It lists categories like '分野別' (by subject) and '年度別' (by year), and a section for '本日の一問' (Today's Question) with a button labeled '本日の一問に挑戦!!'. A callout box points to this button with the text 'このボタンをクリックします。' (Click this button).

The bottom window shows a specific question page titled '第2種情報処理技術者試験 1995年度 = 平成7年度・春期 午前 問42'. The question text is: 'データ通信システムに使用される機器のうち、DTEについて説明しているものはどれか。' (Among the equipment used in data communication systems, which one explains DTE?). Below the question are four options:

- ア 回線交換方式で使用される交換機のことである。
- イ 通信機能をもつコンピュータや端末のことである。
- ウ 低速や中速の信号を多重化し、高速デジタル回線を使って相手側に伝送する機能をもつ装置のことである。
- エ データ伝送回線と端末間の信号形式の整合をとる装置のことである。回線終端装置ともいう。

 Below the options is a '解答' (Answer) section showing 'イ' (I) as the correct answer. A '解説' (Explanation) section follows, detailing each option:

- ア 回線交換方式で使用される交換機は、交換機=PBX (private branch exchange) です。
- イ 通信機能をもつコンピュータや端末の装置が、データ端末装置=DTE (data terminal equipment) です。
- ウ 低速や中速の信号を多重化し、高速デジタル回線を使って相手側に伝送する機能をもつ装置は、時分割多重化装置=TDM (time division multiplexer) です。
- エ データ伝送回線と端末間の信号形式の整合をとる装置は、回線終端装置=DCE (data circuit terminating equipment) です。

 A callout box points to the 'メインメニューに戻ります。' (Return to Main Menu) button with the text 'メインメニューに戻ります。' (Return to Main Menu).

■ 印刷方法

過去問題&解説のページをプリンタで印刷してじっくり読みたいときは、以下の操作を行ってください。

- ① ページ上でマウスの右ボタンをクリックします。
- ② 下図に示すように、コンテキストメニューが表示されますので、〔印刷〕をクリックします。
- ③ 印刷ダイアログボックスが表示されますので、印刷条件などの指定をして印刷を行います。

